

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成27年11月12日(2015.11.12)

【公表番号】特表2015-501625(P2015-501625A)

【公表日】平成27年1月15日(2015.1.15)

【年通号数】公開・登録公報2015-003

【出願番号】特願2014-533367(P2014-533367)

【国際特許分類】

H 02 S 40/34 (2014.01)

H 02 H 3/087 (2006.01)

【F I】

H 02 S 40/34

H 02 H 3/087

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月25日(2015.9.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

発電を目的としたソーラーパネルの利用は、個人および事業が電力コスト削減および温室効果ガス排出削減のための方法を模索するにしたがって拡大を続けている。太陽光電力の利用が増大するにつれて、太陽光電力を生産するために使用されるアレイのサイズも増大している。このエネルギーを繋ぎ合わせるためには、アレイの各部分からの電気出力を統合することが望ましいが、そのためにはそうした様々な部分の出力の監視し、ソーラーアレイのある部分における不具合の有無を検出できるようにすることが望ましい。重大な損傷へと繋がりうる不具合の一つは、アーク放電である。大規模なソーラーアレイは高い電圧を生成し、このアレイからの回路の一つに短絡があれば、ソーラーパネルが太陽光の中にある限り配線がアーク放電する。このアーク放電は、極度な高温を発生させ、絶縁部品、連結部品、または容器を、燃焼させるかまたは溶融させる可能性がある。

この出願の発明に関連する先行技術文献情報としては、以下のものがある(国際出願日以降国際段階で引用された文献及び他国に国内移行した際に引用された文献を含む)。

(先行技術文献)

(特許文献)

(特許文献1) 米国特許出願公開第2011/0121984号明細書

(特許文献2) 米国特許出願公開第2011/0090607号明細書

(特許文献3) 韓国登録特許第10-0999978号公報

(特許文献4) 韓国登録特許第10-0996627号公報

(特許文献5) 特開2011-101537号公報